

DECISION

Protest and Request for Redress

Request No.: 13

Heard Jointly With Number(s): 14, 15

Event: 2022 全日本学生ヨット選手権大会 87th ALL Japan Intercollegiate Sailing Championship Race Number: 2
Hearing Schedule: 2022-11-03 19:00

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 13: 国際スナイプ級 - 国際スナイプ級 - JPN 30917 - 72 - 鹿屋体育大学

Request No.: 15: 国際スナイプ級 - 国際スナイプ級 - JPN 31430 - 26 - 東京工業大学

Race Committee

Request No.: 14: 国際スナイプ級 - 国際スナイプ級 - JPN 31798 - 10 - 日本大学

Race Committee

Witnesses: 当事者：72牧口さん、10須永さん、26蒔田さん

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Protest hailed

Red Flag Displayed: Yes

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

審問番号13,14,15は、密接に関連したインシデントであったため、両審問はRRS 63.2 に従って審問番号13として同時に行った。

レース委員会の代表者として本部船メンバーの古恵良氏が出席した。

審問開始時刻 19:10

FACTS FOUND

11/3スナイプクラス第2Rにおいて、直前のスタートにて本部船に第一代表旗が掲揚されていた。

本部船は、14:51に第一代表旗を降下したと同時にスナイプクラス旗を掲揚し、5秒後にクラス旗を降下した。

続いて本部船は14:52にスナイプクラス旗を掲揚、14:53にU旗掲揚、14:56にU旗降下、14:57にスナイプクラス旗降下し、レースがスタートされた。

それぞれの旗の掲揚降下と同時に音響信号も発せられた。

艇72,10,26の艇体は、それぞれスタート信号前の5,4,22秒前に、スタート・ラインの両端と最初のマークとで作られる三角形の中に入り特定された。

RCは艇72,10,26の第2Rにおける成績を、全てUFDと記録した。

Diagram: Diagram not endorsed

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: RRS62.1

第一代表旗の降下とともにクラス旗を掲揚したことは、RRS29.2に従っておらず、レース委員会に不適切な処置があった。

艇72,10,26はその後正しく発せられた予告信号と準備信号を確認する機会があったがそれを怠った。

したがって、この救済要求はRRS 62.1の「その艇の過失ではなく」という要件を満たしていない。

DECISION

救済を与えない。

Date & Time: 2022-11-03 19:46 JST

PROTEST COMMITTEE

Chaired By: Masaaki Tanaka (JPN)

